



板垣 雄三氏

東京大学名誉教授
東京経済大学名誉教授
【日本中東学会会長、日本イスラム協会理事長、日本学術会議会員など歴任。2003年文化功労者。「イスラム化」、「日本アラブ国際共同研究」、「イスラムの都市性」、「イスラム世界との文明間対話」など、国際プロジェクト組織者。東京大学大学院で地域文化研究専攻コースの設置に奔走。1978年政府の中東文化ミッション(団長・梅棹忠夫)参加のち、国立民族学博物館地域研究企画交流センターJOCAS設立作業に従事。日本学術会議において「地域研究」研究委員会の設立(2003年)のため尽力。本シンポでは、我が国地域学研究の深化と縦横自在に世界に開かれた地域学への提言をいただける。

1931年、東京市生まれ
東京大学文学部西洋史学科、同大学院修士課程修了
元東京大学東洋文化研究所教授、東京大学名誉教授
専門：イスラム学
主な著書：『歴史の現在と地域学—現代中東への視角—』岩波書店・1992、『世界史の構想—地域からの世界史』朝日新聞社・1993、『1968年の世界史』共著 藤原書店2009など。

日本中東学会会長、(社)日本イスラム協会理事長、日本学術会議会員など歴任。2003年文化功労者。「イスラム化」、「日本アラブ国際共同研究」、「イスラムの都市性」、「イスラム世界との文明間対話」など、国際プロジェクト組織者。東京大学大学院で地域文化研究専攻コースの設置に奔走。1978年政府の中東文化ミッション(団長・梅棹忠夫)参加のち、国立民族学博物館地域研究企画交流センターJOCAS設立作業に従事。日本学術会議において「地域研究」研究委員会の設立(2003年)のため尽力。本シンポでは、我が国地域学研究の深化と縦横自在に世界に開かれた地域学への提言をいただける。



上山 和雄氏

國學院大学教授
横浜開港資料館長

1946年、兵庫県生まれ
東京大学大学院人文科学研究科博士課程卒業(単位取得退学)
國學院大学文学部教授、横浜開港資料館館長、國學院大学渋谷学研究会代表、文学博士
専門：日本近現代史
主な著書：『陣笠代議士の研究—日記にみる日本型政治家の源流』日本経済評論社・1989、『北米における総合商社の活動、1896年から1941年の三井物産—』日本経済評論社・2005、『歴史のなかの渋谷、渋谷から江戸・東京へ』編著 雄山閣・2011など。

近現代史研究、とくに経済史、日米交流史、地域史を中心に研究し、平成22年に「渋谷学」シンポジウム「地元を『科学する』ということ」を主宰し、大学における共同研究として、地元を科学することの学問的意義や地域貢献の意義を問うてきた。本シンポにおいては、「渋谷学」の実践から、現代の諸問題の考察における地域学の意義とその課題について講演する。



田口 洋美氏

東北芸術工科大学歴史文化研究センター副所長
狩猟文化研究所代表

1957年、茨城県生まれ
東京大学大学院研究科博士課程修了(博士・環境学)
東北芸術工科大学・歴史遺産学科教授
東北文化研究センター副所長、狩猟文化研究所代表
専門：民俗学、文化人類学、地理学、環境学
主な著書：『越後三面山人記-マタギの自然観に習う-』農山漁村文化協会・1992、改訂版・2000、『マタギ-森と狩人の記録-』慶友社・1994、『マタギを追う旅-フナ林の狩りと生活-』慶友社・1999、『ロシア極東の民族考古学』共著・六一書房・2005など。

マタギ研究の第一人者で、映画の助監督もつとめ、1990年「マタギサミット」、フナ林と狩人の会を發起し、現在も主宰幹事である。近年は、ロシアシベリア地方の北方狩猟民族の調査・研究も行っている。本シンポにおいて、地域学研究の先駆者としての東北文化研究所と東北学のあゆみ、成果、課題、提言等についてご講演いただく。



柳原 邦光氏

鳥取大学地域学部教授

1956年島根県生まれ
広島大学大学院文学研究科博士課程単位満期取得(西洋史学専攻)
鳥取大学地域学部地域文化学科地域文化形成論講座教授
専門：ヨーロッパ近代史、フランス近代史
主な著書：『フランス革命と長期的持続—聖職者リクルートと宣誓問題を通して』(岡本明編著『支配の文化史』ミネルヴァ書房・1997所収)、『地域学入門—(つながら)をとりもどす』ミネルヴァ書房・2011など。

フランス革命期の非キリスト教化運動や現代フランスの「政治的なもの」と「宗教的なもの」との関係に関心をもつ。地域学を理論化する仕事もしている。本シンポジウムでは、鳥取大学の「地域学」を創る試み、地域のもつ意味、地域文化とのかかわり、希望の学としての地域学などを、『地域学入門』の成果紹介とあわせて、ご講演いただく。



長野 暹氏

佐賀大学名誉教授

1931年、愛媛県生まれ
九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学
佐賀大学名誉教授、経済学博士、文学博士
主な著書：『佐賀藩と反射炉』新日本出版社・2000、『幕藩制国家の領有制と領民』吉川弘文館・2004、『八幡製鉄所史の研究』日本経済評論社・2003など。

幕藩体制国家領有制とその解体についての研究を佐賀藩・西南諸藩を中心に論じた。文部科学省特定領域研究「略称：江戸のモノづくり」において、佐賀グループ代表として反射炉、四郎島砲台等佐賀の歴史遺産研究に邁進し、幕末科学技術研究会を主宰して、地域文化遺産研究を進めた。さらに日中の製鉄技術における比較研究をすすめるなかで、地域研究における在来知の視点からの研究の重要性を説く。本シンポにおいても、佐賀の歴史文化遺産分析から我が国文化受容と創造における在来知の意味をご講演いただく。



安達 裕之氏

東大教授

1947年、大阪市生まれ
東京大学工学部船舶工学科卒業、工学博士(東京大学)
現在、東京大学大学院総合文化研究科教授
専門：海事史、造船史、技術史
主な著書：『調べ学習日本の船の歴史』学習研究社、『異様の船—洋式船導入と鎖国体制』平凡社選書・1995、『日本の船 和船編』日本海事科学振興財団の科学館編・1998など。

日本の船の歴史、主に機械化される以前の船の歴史を研究し、蒸気船出現以前の時代には、地域が違えば、船も違うのが普通であったこと、日本はヨーロッパとともに、船の大型化の過程がわかる数少ない地域であることを明らかにした。とくに弁才船の模型の図面化と幕末に導入された洋式造船技術をめぐって、洋式造船法の普及、近代的な海軍産業の育成、海軍の創設、海運の近代化について研究をされてこられ、本シンポでは三重津海軍所や凌風丸の製作意義等を上記の視点からのご講演をいただこう。

申し込み・問い合わせ先

佐賀大学地域学歴史文化研究センター

〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1番地

TEL・FAX 0952-28-8378

E-mail : chirebun@ml.cc.saga-u.ac.jp



第4回 地域学シンポジウム

入場無料

一般の方は事前申し込みは
必要ありません。

第I部 地域学研究への提言
第II部 地域学と世界遺産

2012年

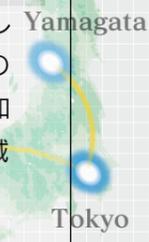
2月4日[土]→5日[日]

佐賀大学 経済学部4番教室

主催：佐賀大学・地域学歴史文化研究センター・地域学創出プロジェクト

後援：佐賀県、佐賀市(II部に関しては、佐賀市は共催になります)、佐賀新聞社、STSサガテレビ、NHK佐賀放送局

第II部 地域学と世界遺産



2012年
2月5日[日] 12:50~ **第II部**

佐賀県・佐賀市は九州・山口近代化産業遺産群の世界遺産登録をめざして調査研究をすすめています。本シンポジウムでは、三重津海軍所跡の調査研究を核にして、地域学研究のすすめかた、地域学研究と在来知（在来技術・経験知等）の関係、地域文化遺産の保存・活用、未来の地域文化遺産づくりをどうすすめるべきかを考えていきます。

開会	12:50~13:10
基調講演I	13:10~14:00
 「地域学研究と在来知」 佐賀大学名誉教授 長野 暹氏	
基調講演II	14:00~15:10
 「佐賀藩の洋式船導入と三重津海軍所」 東京大学教授 安達 裕之氏	
休憩	15:10~15:20
地域学・世界遺産シンポジウム	15:20~16:10
「地域学と世界遺産」 パネリスト：成富、前田、野口、安達、長野	
実践報告	
「九州・山口の近代化産業遺産群」 佐賀市歴史まちづくり課課長 成富 直行氏	
「三重津海軍所跡の考古学調査」 佐賀市教育委員会文化振興課世界遺産調査室長 前田 達男氏	
「三重津海軍所の歴史性」 佐賀大学非常勤博士研究員 野口 朋隆氏	
質疑	16:10~16:30
閉会	16:30



5日

第I部 地域学研究への提言

Islam

2012年
2月4日[土] 10:00~ **第I部**

我が国には地域の冠名をほどこした地域学が、それこそ無数に存在します。その目的は地域づくり、地域連携、地域史研究、地域文化研究、民族文化研究等多様です。本シンポジウムにおける各地の地域学研究の実践と成果報告から、地域学とは何か、地域学推進の意義等についての共通理解を深め、我が国地域学研究を深化させ、かつ縦横自在に世界に開かれた地域学を提言していきます。

開会 オープニングセレモニー	10:00~10:30
基調講演I	10:30~12:00
 「《地域学》推進への提言」 東京大学名誉教授、東京経済大学名誉教授 [日本中東学会会長、日本イスラーム協会理事長、 日本学術会議会員などを歴任、文化功労者、イスラーム学]	板垣 雄三氏
昼食	12:00~13:00
基調講演II	13:00~14:00
 「地域学の面白さと難しさ—渋谷学の実践から」 國學院大學教授、横浜開港資料館長	上山 和雄氏
実践報告	14:10~14:40
 「佐賀学のススメ—問題提起にかえて」 佐賀大学地域学歴史文化研究センター教授	青木 歳幸氏
休憩	14:40~15:00
	15:00~15:40
 「東北文化研究センターと東北学のあゆみ」 東北芸術工科大学・歴史遺産学科教授 東北文化研究センター副所長、狩猟文化研究所代表	田口 洋美氏
	15:40~16:20
 「《地域学》を創る」 鳥取大学・地域学部教授	柳原 邦光氏
地域学シンポジウム	16:10~17:00
「地域学推進の意義…我が国地域学研究への提言—」	
パネリスト：板垣、上山、青木、柳原、田口 キーワード：地域学、地域特性、普遍性、異文化理解、日本・アジア・世界	

4土